神戸新聞 2016年08月08日 月曜日 面名 夕一社 夕5 11ページ

尊敬する／陰の努力に感服

県内スポーツ関係者

イチロー選手がプロ野球選手として始動し、現在もシーズンオフを過ごす兵庫県内のアスリートらも、大記録達成を祝福した。

サッカーJリーグ1部（J1）ヴィッセル神戸のGK徳重健太選手(32)は「道のりがしっかりしていないと出せない記録。選手としても人としても尊敬している」と仰ぎ見る。

2009年ごろ、神戸市内の行きつけの焼き肉店で知り合い、神戸での自主トレーニングに共に取り組む間柄。12年にはイチロー選手がヴィッセル神戸の練習場に突然現れ、徳重選手を応援する横断幕を贈った。

「シーズンオフも毎日、練習されている。そんなスポーツ選手は見たことがない」と徳重選手。トレーニング中は自身の感覚を研ぎ澄まし、近づきがたいほど集中し、「妥協せず競技と向き合う。本当に自分に厳しい方」と畏敬の念を抱く。

夏の甲子園大会に兵庫代表として出場、9日に初戦を迎える市立尼崎高校（尼崎市）の竹本修監督(52)は、プロ野球オリックスの球団職員時代、若き日のイチロー選手と接した。「体が細くて打球も低いけど、一塁側、三塁側ともに幅2メートルほどの間を狙い、全部そこに正確に打ち分けていた」と振り返る。

全体練習の後も自主的に打ち込み、深夜にウエートトレーニング。「それでも朝6時から平気な顔で自転車型トレーニング器具をこいでいる。イチローは確かに天才。でもめっちゃ練習していた」。偉業を支えた陰の努力を今の教え子たちに説いている。（伊藤大介、山本哲志）

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

① 市立尼崎高校の竹本修監督は、オリックスの球団職員時代にイチロー選手と接していました。そのときのイチローについて、今の教え子たちにどのように言っていますか、そこをマーカーで印をつけましょう。

② この記事を読んだ感想を書きましょう。

名 前 【 】

NIEワークシート／小学高学年～高校／道徳、総合、朝NIE